１．件名：東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所１号炉の原子炉補機冷却系統の汚染に関する調査・分析から得られた知見への対応に係る電力事業者等との面談
２．日時：令和６年２月２９日　１０時００分～１１時３０分
３．場所：原子力規制庁　８階会議室（※一部テレビ会議システムにて参加）
４．出席者
原子力規制庁
長官官房技術基盤グループ
技術基盤課　遠山課長、照井課長補佐
シビアアクシデント研究部門　栃尾主任技術研究調査官
原子力規制部
原子力規制企画課　藤森企画調査官、佐藤係長
実用炉審査部門　皆川管理官補佐、西内安全審査官、小野安全審査官
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室　佐藤上席特殊施設分析官、岩野係長
実用炉監視部門　渡邉上席監視指導官
東北電力株式会社　原子力部　原子力技術課長　他５名
東京電力ホールディングス株式会社　原子力設備管理部　課長　他３名
中部電力株式会社　原子力部　安全技術グループ　グループ長　他４名
北陸電力株式会社　原子力部　原子力安全設計チーム　課長　他１名
中国電力株式会社　電源事業本部　原子力安全グループマネージャー　他３名
日本原子力発電株式会社　発電管理室　技術・安全グループ　課長　他１名
電源開発株式会社
原子力技術部　炉心・安全室　安全技術タスク　総括マネージャー　他３名
原子力エネルギー協議会（ATENA）　部長　他１名

５．要旨
〇第５回東京電力福島第一原子力発電所事故に関する知見の規制への取り入れに関する作業チーム事業者意見聴取会合（令和５年１１月１日。以下「第５回意見聴取会」という。）[1]や令和６年１月１５日の面談[2]において議論があった、RCW 汚染に関する論点[3]を踏まえた全交流電源喪失時における電源復旧・原子炉格納容器隔離弁の閉止に係る手順の整備状況（以下「RCW 汚染に関する論点を踏まえた事故時手順の整備状況」という。）について、令和５年度第６０回原子力規制委員会（令和６年１月２４日）[4]における議論を踏まえ、原子力規制庁から ATENA 及び BWR 事業者

[1] https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/ikenkokan_other/070000111.html
[2] 面談概要：https://www2.nra.go.jp/data/000465708.pdf
面談資料：https://www2.nra.go.jp/data/000465709.pdf
[3] 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析から得られた東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所１号炉の原子炉補機冷却系統の汚染に関する調査・分析から得られた知見
[4] https://www.nra.go.jp/disclosure/committee/kisei/010000886.html

（以下「事業者等」という。）に対して、次回意見聴取会において詳細を説明するよう準備を進めることを求めるとともに、現在の対応状況を聴取した。

〇事業者等から、RCW 汚染に関する論点を踏まえた事故時手順の整備状況について、以下のとおり概要が報告された。

- 新規制基準に適合した BWR[5]であれば、RCW 汚染に関する論点を考慮したとしても、その事故時手順によって実質的に対応が可能と考えられる。また、保安規定上は特段の変更を要しない見込み[6]。
- 一方で、RCW 汚染に関する論点が東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析から得られた重要な知見の１つであること等を鑑み、保安規定の下位文書である事故時手順書レベルにおいて必要な見直しを行うこととしている。
- 当該事故時手順書の見直しについて、東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所７号炉及び東北電力株式会社女川原子力発電所２号炉については既に対応が完了しており、ATENA-WG 内においても共有済。中国電力株式会社島根原子力発電所２号炉については同年８月までに対応する予定。
- 他の BWR についても、新規制基準適合のための対応の中で今後適宜取り組んでいく予定。

〇原子力規制庁は、事業者等の報告を聞き置くとともに、事業者等に対して、引き続き、次回意見聴取会に向けて必要な準備を進めるよう伝達した。

〇事業者等から、了解した旨回答があった。

６．資料：

なし

以　上

[5] 第５回意見聴取会や令和５年度第６０回原子力規制委員会における議論を踏まえれば、既設の PWR は、圧力容器下部に格納容器を貫通する配管はないことから、RCW 汚染に関する論点については検討不要と考えられる。

[6] 日本原子力発電株式会社東海第二発電所については、他の BWR との設計上の差異（RCW の隔離弁が自動隔離弁ではない等）を踏まえ、今後の対応を検討中との報告がなされた。